

ギシナビ News



令和2年 10月
【005号】

DreamGP
Dream Growing Platform
株式会社ドリーム・ジーピー

【大阪本社】
〒556-0004
大阪市浪速区日本橋西1丁目3-19 南海日本橋ビル1F
TEL:06-4708-4877 / FAX:06-4708-4789

【解説】

『InsoleG(インソールG)』
バージョンアップのご案内

今回は、9月26日(土)開催
の第6回オンラインセミナーで
もご紹介した弊社開発の足底板
設計ソフト「InsoleG」の
バージョンアップに伴い、新たに追加・
改善された機能について解説します。

まずは、弊社開発の携帯型シャム計
測機でトリックシャムから足の形状を抽出
(傾きや切り取り高、向きや位置等、必
要な調整を施し、保存)するまでが下準
ス株式会社)より、國枝毅士氏と三輪和
弘氏のお二方をパネリストにお迎えし、
お話を伺いました。

①具体的な導入時期と機器内容

◎有限会社中部義肢様(以下、中部義肢)
2017年2月に「シャム計測機と切
削機(デスクタイプ)」
◎東名ブレース株式会社様(以下、東名
ブレース)

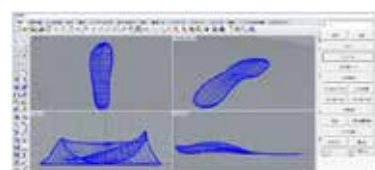
2017年3月に関東支店へ「シャム
計測機と切削機(一世代前のスリムタイ
プ)」続いて、2018年12月に本社へ
「シャム計測機と切削機(最新型のス
リムタイプ)」

しかしながら、両社とも、2017年時
点で既に海外機器の導入やデジタル化へ
の移行など、先を見据えた何らかの対策
をされていたとのことで、その上で、弊

備です。

次に、各足ごとに条件設定をするので
すが、お客様のご要望に応じて様々なタ
イプの底面ゲージを登録することが可能
になりました。

また、設計作業中の
「戻る(Undo)」操
作と、インソール長や
インソール幅、ゲージ
高を手入力で調整出来
る機能が追加され、自
由度が高くなりました。
その他、前足部の形



「InsoleG」設計画面

②導入のメリットと改善要望

両社とも、国内メーカーを利用するこ
とのメリットとして、「メンテナンスや
故障時の対応などで時差や言葉の壁、改
善までにかかる時間やコストを気にする
必要がないこと」を挙げられました。

足底板では月平均で300個以上を製
作されている東名ブレースの三輪氏から
は、従来の製作方法に比して時間短縮に
加え、従業員の身体的負担の軽減に繋
がったとのこと意見が、中部義肢では、デ
ジタル化によって、手作業の約2倍の生
産性を上げることが可能になり、切削
機導入により切削中に出来た「すきま時
間」は、別データの入力や他の担当者の
フォローに入るなどに回せるようになった

状がインソールゲージの影響を受けない
「スクエア化」という機能や、「内外側ア
ーチ」については、「標準」「長」「短」等ア
ーチ位置の移動に柔軟性を持たせ、更に作
業履歴が記録される枠を設けたことで、
画面上で随時ご確認頂けます。

「パーツ配置」や「パーツ編集」については、
移動や拡大・縮小、厚み等、「ヒール
ウェッジ」については、変形範囲やウェッ
ジの幅や量等、「ヒールムーブ」では変形
範囲の指定、踵長を伸ばす「ヒールスト
レッチ」機能等、更に細かい調整が可能
になりました。詳細はお問合せ下さい。

他、1個当たりの製作時間が短縮され
たことにより全体的な残業の削減にも繋
がっているとのこと意見がありました。

一方で、スキニング時のエラーや
データを設計する際の専用ソフトの機能
面についてご指摘を頂きましたが、ソフ
トについては最新版では既に改善済みで
あることをご案内させて頂きました。

また、両社とも、普段からこまめに機
器の清掃をして頂いているとのこと、
初期設定の段階で少しのすきまはあつ
たものの、以降は問題なく稼働している
とのことでした。

その他、弊社代表による時流分析や弊
社執行役員成毛による弊社開発の足底板
設計ソフト「InsoleG」のライブ実
演、弊社営業中村による「ものづくり補
助金」のご案内、質疑応答では保険適用
外の市場についての見方をお話ししました。

【報告】第6回オンラインセミナー 『導入のキッカケ、選ばれたワケ ～弊社システム導入企業様ここの話～』

募り、次回以降の企画内容にも反映させ
て頂いております。

今回、アンケートの中でもご要望の多
かった、「実際に(弊社の)システムを
導入されている企業様からの生の声を聞
いてみたい」



國枝 毅士 氏
とのご意見に
基づき、既に
弊社開発機器
およびシステ
ムをご導入頂
いている二社
様(有限会社
中部義肢およ
び東名ブレー



三輪 和弘 氏
様(有限会社
中部義肢およ
び東名ブレー

【紹介】日々の研究、ほんのひとコマ



歩行追跡のための ウェアラブルセンサー テクノロジー

アドゥアヨム・アヘゴ・アクエティビ（弊社研究員）

従来、人間の動きは歩行実験室で生体力学的に分析されてきましたが、それらデータを収集・分析し、顧客にフィードバックを提供するためには専門的なスキルを必要とします。歩行実験装置は、健康な被験者や四肢に障害のある患者、あるいはスポーツ活動を分析するために、学術、産業、病院などの分野で使用されています。

歩くことは、人間の日常生活動作の主要な要素です。現在、ウェアラブルセンサー技術は、スポーツや人間工学、リハビリテーションの分野で応用されています。

フットウェアの生体力学により、専門家は、歩数や歩行速度、バランス、中心圧力などのパラメータを測定することで、転倒リスクを分析し、減少へと導くことが出来ます。近年では、多くの靴業界がアスリートの動きやパフォーマンスを追跡するために、ウェアラブルセンサーを使用するようになっています。人工知能でアスリートを指導しながら、リアルタイムにフィードバックを提供することで、彼らのパフォーマンスは改善します。

インソールは、バランスや歩行の安定性、衝撃吸収や足の位置合わせ、および異常を伴う足の状態を矯正させるためにフットウェアに使用されてきました。ウェアラブルセンサーをインソールに融合すれば、ユーザーは日常生活やスポーツ分野における通常の歩行を追跡することが出来ます。スマートインソールを使用すれば、リハビリテーションの分野では、足の問題の早期発見に繋がるでしょうし、産業労働環境では、そこで働く労働者の姿勢や歩行速度、歩数、距離、パフォーマンス、バランスを追跡することが出来るでしょう。

ウェアラブルデバイスは、近年、健康、スポーツ、学術、および産業の分野で、研究と革新の大きな可能性を示しています。



←原文はこちらから



携帯型三次元シャム計測機



従来型三次元シャム計測機



CAD 設計画面

ご興味を持たれました事業所様は、是非お気軽にお問い合わせ下さい。

ボックス型の本機は携行至便で、お取り引き先様（病院等）訪問の際には、従来

【紹介】
弊社開発最新
「携帯型三次元
シャム計測機」

この度、弊社では、従来の据え置き型シャム計測機の他に、新たに「携帯型三次元シャム計測機」を開発致しました。専用PCが収納された

のトリックシャム（足型採型）の採取だけでなく、スキャニングから設計、データのアップロードまでもが可能となります。これにより、事務所での作業は当該データのダウンロードと切削のみとなりますので、従来作業からの大幅な時間短縮および効率化と生産性のアップに繋がります。また、石膏モデルのスキャニングやインソールデータ設計にも対応しております。

第7回 Zoom 利用による無料オンラインセミナー

義肢装具士の皆様へ

【日時】2020年10月17日（土）
14:00～16:00

『24時間体制のケアサポートを考えた開発 ～ “正しい靴下” の着用を習慣にすることの意義～』

【演題】

1. 14:00～14:15

『足から始める健康経営～「フットライフサイクル」によるサポートとは？～』

講師：荒山 元秀（弊社代表）

2. 14:15～15:15

『24時間体制のケアサポートを考えた開発

～ “正しい靴下” の着用を習慣にすることの意義～』

客員講師：中林 功一氏（株式会社 山忠 取締役会長）

亀山 貴司氏（株式会社 山忠 係長）

~~~~~休憩（15:15～15:25）~~~~~

3. 15:25～15:50 『FOOTSCAN～その活用事例のご紹介～』

講師：成毛 喜男（弊社執行役員）

4. 15:50～16:00 質疑応答



「フットライフサイクル」イメージ



中林 功一氏



亀山 貴司氏



「ケアソク」とのえる「シリーズの一例と効果検証（扁平足）」



図1 足の圧力



「FOOTSCAN」計測時の様子と計測データ表示画面

【お申込み・お問合せ】※お申込み期限：10月15日（木）

主催 (株)ドリーム・ジーピー

TEL: 06-4708-4877 / FAX: 06-4708-4879

E-mail: info@dreamgp.jp

・氏名（ふりがな）、貴社名、所属名・役職、電話番号、メールアドレス）をご用意の上、FAXまたはE-mailにてお申し込みください。

セミナー当日、お伺いしたメールアドレスへ専用URLを送信致しますので、そちらをクリックしてご参加下さい。

